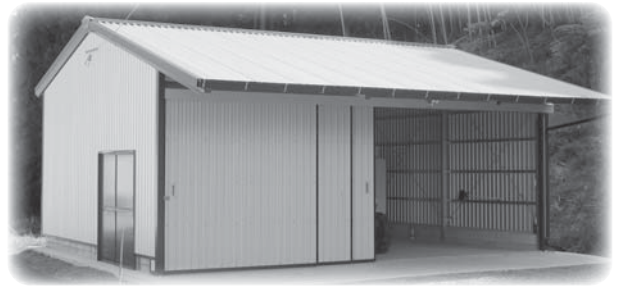


災害関連で一般会計総額例年



ガレキ撤去の様子
(災害廃棄物処理業務委託費 15億861万円)



復旧された倉庫
(農業経営体育成事業 10億6342万円)

「南阿蘇村特定の事務を取り扱う郵便局の指定について」可決

熊本地震の影響により、村外に避難している村民の方の負担を軽減するため、大津郵便局に各種証明書等の発行事務を委託。取り扱う証明書等は次の通り。

1. 戸籍の全部事項証明書（戸籍謄本）
 2. 戸籍の個人事項証明書（戸籍抄本）
 3. 所得証明書・課税証明書
 4. 住民票記載事項証明書の写し
 5. 戸籍の附票の写し
 6. 印鑑登録証明書
 7. 除籍・改製原戸籍謄本・抄本
- 平成28年10月11日から取り扱いを開始。

「公の施設の他の団体の利用に関する協定の締結について」可決

昨年議決された、「連携中枢都市圏構想」により、南阿蘇村と熊本市がお互いの住民に対し、図書資料の貸し出しを実施する協定。

この協定の締結により、南阿蘇村民であっても、熊本市の条例に規定されている図書室で貸し出しを受けることが出来る。

仮設団地の状況 ※10月18日現在

団地名	建設戸数	入居戸数
岩坂仮設団地	43戸	42戸
室南出口団地	57戸	55戸
室第2仮設団地	13戸	11戸
長陽運動公園仮設団地	56戸	54戸
加勢ノ上仮設団地	65戸	64戸
陽ノ丘仮設団地	92戸	82戸
下野山田仮設団地	68戸	67戸
岸野仮設団地	7戸	7戸
みなし仮設		982戸
合計	401戸	1,364戸

本会議での質疑

平成28年度南阿蘇村一般会計補正予算の議決について
後藤議員 避難所運営費に関係する避難所について説明を。

A 住民福祉課長 二次避難所として阿蘇市の小笠原、アーデンホテル、ファームランド、朝陽レストラン、四季の森、瑠璃におよそ230名が避難している。

Q 後藤議員 本田技研避難所の閉鎖時には、村として感謝の意を含めてどういった対応をとったか。

A 村長 大津町と本田技研へお礼に伺った。十分であつたかは分からないが、誠意はしっかり表した。

Q 太田議員 災害復旧支援金2億円について詳細な説明と今後も情報公開を。

A 会計課長 義援金は村の復興に役立てて欲しいという災害復旧支援金として2億4772万円、被災者に直接配分する分として2億4679万円。

Q 太田議員 罹災証明の判定について、1次から2次で判定が重くなった件数はどれくらいで、内容はどうなったのか。

A 税務課長 7月末までで、517件中338件が重判定となった。原因としては、雨の被害が大きかったと思われる。

Q 太田議員 仮設店舗整備事業の説明では、村長は2年を目的に、担当課長は5年を目的にと倍以上開きがあつたが、明確なルールを決めるべきでは。

A 村長 実際には5年が区切りであるが、村内の他の事業所を考えた場合、個人の気持ちとしてできるだけ早い自立を願う2年と考えている。

を求める。

〔陳情者〕 佐々木健雄・小堀 孝二・今村 孝明
山根 正典・今村 健正・後藤 松夫
羽山 太二

〔審査の結果〕 継続審査（総務常任委員会へ付託）